

# EA21 環境活動レポート

第4版

活動期間 （平成24年8月～平成25年7月）



本社の社屋側壁には環境にやさしい建材（間伐材や珪藻土等）を活用しています。

平成26年6月1日作成

株式会社 環境衛生科学研究所  
〒851-0134 長崎県長崎市田中町603番3

## 目 次

表 紙	・ ・ ・ ・ ・	P. 1
目 次	・ ・ ・ ・ ・	P. 2
1. 環境方針	・ ・ ・ ・ ・	P. 3
2. 組織の概要	・ ・ ・ ・ ・	P. 4
3. EA21取組に係わる組織体制	・ ・ ・ ・ ・	P. 5
4. 環境への負荷ならびに取組みの自己評価	・ ・ ・ ・ ・	P.6-P.7
5. 環境目標	・ ・ ・ ・ ・	P. 8
6. 主な環境活動計画の実施内容	・ ・ ・ ・ ・	P. 9
7. 環境目標の実績	・ ・ ・ ・ ・	P. 10
8. 環境活動計画の取組結果とその評価、 及び次年度の取組内容	・ ・ ・ ・ ・	P.11-P.12
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 の結果並びに違反、訴訟等の有無	・ ・ ・ ・ ・	P. 13
10. 代表者による全体評価及と見直しの結果	・ ・ ・ ・ ・	P. 13
11. 当社のECO活動について	・ ・ ・ ・ ・	P. 14

# 1. 環境方針

## 株式会社環境衛生科学研究所 環境方針

当社は「地球にやさしい環境の花を咲かせます。」を経営理念に掲げ、環境保全への取り組みを経営上の重要事項のひとつと位置づけて、事業活動を推進します。

- ・ 温室効果ガスの削減  
エネルギー、資源、これらの使用量の削減に努め、温室効果ガスを削減します。
- ・ 給排水量の削減  
水の消費状況をチェックし、使用量を削減します。
- ・ 廃棄物の削減と適正処理  
廃棄物の排出状況等をチェックし、リサイクルの推進により廃棄物量の削減に努めます。分析廃液やサンプル等の廃棄物は適正に処理を行い、環境への悪影響を防止します。
- ・ グリーン購入の推進  
再生紙、リサイクル製品等の活用の推進に努めます。
- ・ 化学物質の適切な管理  
使用量を記録し、定期的に残存量のチェックを行い、管理の充実に努めます。
- ・ 環境に関する法規の遵守  
当社に適用される環境関連法規等を遵守していきます。
- ・ 継続的改善  
より環境保全に寄与できるように、環境マネジメントシステムを継続的に改善していきます。
- ・ 環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進  
環境活動レポートを作成し、社内外に対して環境保全に関する情報の提供を行います。また、環境コンサルティング業務を通じて、普及啓発・教育活動を推進するとともに、地域社会の一員として地域・社会貢献活動を積極的に推進します。

本環境方針は、社内教育・掲示等により、全従業員に周知徹底します。

平成 22 年 7 月 5 日 改訂-1 株式会社環境衛生科学研究所  
代表取締役社長 新宮 一広

## 2. 組織の概要

### 1) 会社名及び代表者名

株式会社環境衛生科学研究所  
代表取締役社長 新宮一広

### 2) 法人設立年月

1974年8月

### 3) 資本金・事業年度

資本金 : 2000万円  
事業年度 : 期首7月1日 期末6月30日

### 4) 事業所の所在地

本社 〒851-0134 長崎県長崎市田中町603番3  
TEL : 095-834-0250 FAX : 095-834-0261  
福岡カバ 〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目4-13  
TEL : 092-406-3612 FAX : 092-406-3613

### 5) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 : 技術営業部 松尾維典  
担 当 者 : 技術営業部 川路三和子

### 6) 認証・登録の範囲

当社は全組織・全活動を認証・登録の対象範囲としています。

### 7) 事業活動の内容 計量証明事業

自然環境中の水・大気・土壌のモニタリングや、「私たち」の暮らす環境が安全・安心かどうか検査する事業です。

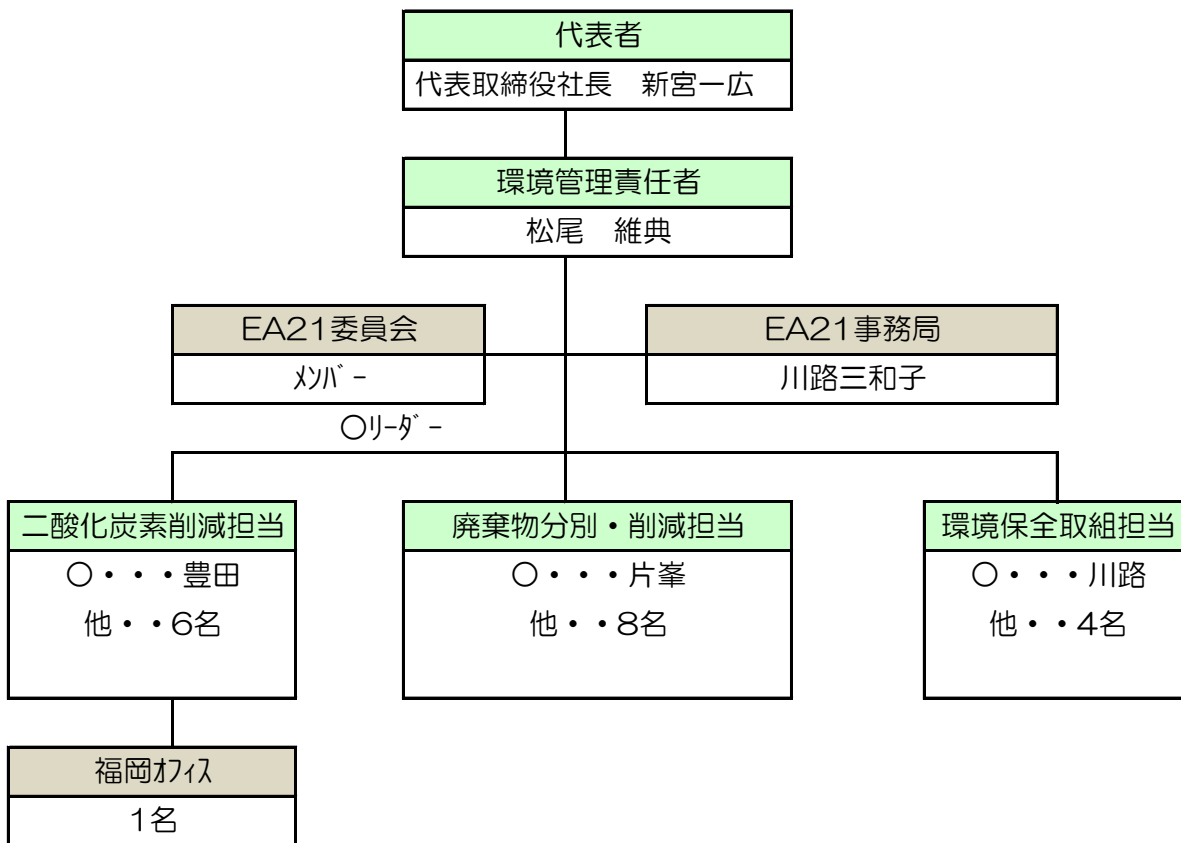
#### ～ 事業登録の一覧 ～

- ・計量証明事業（濃度）長崎県第68号
- ・計量証明事業（騒音）長崎県第10号
- ・計量証明事業（振動）長崎県第74号
- ・作業環境測定機関登録 長崎労働局42-2
- ・土壌汚染調査指定機関 環2003-2-372
- ・水道法第20条登録検査機関 厚労省250号
- ・建築物飲料水質検査業 長崎県56水第1号
- ・温泉登録分析機関 長崎県第3号
- ・第2種臭気測定認定事業所第278（02）号
- ・建築物空気環境測定業 長崎県17空第1号

### 8) 事業規模

職員数 : 22人  
延床面積 : 513.2㎡

### 3. EA21 取組に係わる組織体制



役割分担表

所属	役割 ・ 責任 ・ 権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者として全体の統括、環境方針の策定</li> <li>環境への取り組みをするための資源の準備をする</li> <li>環境管理責任者、EA21委員会、EA21事務局員を任命する</li> <li>EA21全体の取り組み状況に関して評価、見直しをする</li> <li>環境方針を従業員に周知させる</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>EA21がトヨタの要求事項を満たす環境経営システムの構築・実施推進・維持管理を実行し環境実績を向上させる</li> <li>環境への負荷及び取り組みへの自己チェックの実施</li> <li>全体の把握とEA21に関する実施把握と報告</li> </ul>
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的開催し、環境目標の達成状況及び環境活動計画の確認を行う</li> <li>EA21に関する審議</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐事務</li> <li>EA21の文書及び記録類の作成・維持・管理を行う</li> <li>その他 EA21に関する業務</li> </ul>
各担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する</li> <li>環境目標を実施し、継続的な改善に努力する</li> <li>担当別の役割について認識し積極的に活動を推進する</li> </ul>

## 4. 環境への負荷ならびに取組みの自己評価

### 1) 環境への負荷の実績

当社における環境負荷実績結果は以下の通りです。

※年度は8月から7月とします。

項目		単位	2010年度	2011年度	2012年度	
① 温室効果ガス 排出量	【二酸化炭素】	kg-CO <sub>2</sub>	76,534	36,965	77,316	
② 廃棄物排出量 及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再生利用	kg	491.7	138.3	227.4
		単純焼却	kg	443.1	248.9	474.9
		最終処分	kg	—	—	—
	産業廃棄物	再生利用	kg	—	—	—
		単純焼却	kg	—	—	—
		最終処分	kg	786.5	306.2	691.7
③-1.総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	—	—	—	
	下水道	m <sup>3</sup>	1,120	514	1,008	
③-2.水使用量	上水	m <sup>3</sup>	1,120	514	1,008	
		m <sup>3</sup>	—	—	—	
④ 化学物質使用量	有機溶剤等	kg	138	96.1	164	
	固体等	kg	6.7	1.3	0.3	
⑤ I <sup>レキ</sup> -使用量	購入電力 (新I <sup>レキ</sup> -を除く)	MJ	1,320,267	616,931	1,221,771	
	化石燃料	MJ	434,924	219,914	509,176	
⑥ 物質使用量	資源使用量	t	—	—	—	
	循環資源使用量	t	—	—	—	

備考：購入電力の二酸化炭素排出係数は、平成19年度の九州電力の0.348kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用します。

## 2) 環境への取組みの自己評価

2013.10.1作成

総合結果 401 / 444

具体的な取組	評価点		基準点
<b>1, 事業活動へのインプットに関する項目</b>	<b>176</b>	<b>/</b>	<b>196</b>
1) 省エネルギー	78	/	90
2) 省資源	34	/	36
3) 節水、水の効率的利用	42	/	48
4) 化学物質使用量の抑制及び管理	22	/	22
<b>2, 事業活動からのアウトプットに関する項目</b>	<b>102</b>	<b>/</b>	<b>114</b>
1) 温室効果ガスの排出抑制、大気汚染等の防止	0	/	0
2) 廃棄物等の排出抑制、リサイクル、適正処理	90	/	102
3) 排水処理	6	/	6
4) その他生活環境に係る保全の取組等	6	/	6
<b>3, 製品及びサービスに関する項目</b>	<b>95</b>	<b>/</b>	<b>100</b>
1) グリーン購入	24	/	24
2) 製品及びサービスにおける環境配慮	71	/	76
<b>4, その他</b>	<b>28</b>	<b>/</b>	<b>34</b>
1) 生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組	0	/	0
2) 環境コミュニケーション及び社会貢献	24	/	30
3) 施主・事業主における建築物の増改築、解体等にあたっての環境配慮	4	/	4

## 5. 環境目標

環境負荷の調査結果により、当社の環境目標を下記のように設定した。

※年度は8月から7月とします。

環境目標		基準値	環境目標		
		3年間の平均値 (2009~11年度)	2012年度	2013年度	2014年度
二酸化炭素排出量(参考)	kg-CO2	基準比 101,896	4.8%削減 96,232	8.1%削減 94,799	8.1%削減 94,799
	kg-CO2(※)	84,868	80,819	78,004	78,004
購入電力	kWh	基準比 139,233	6%削減 130,879	6%削減 130,879	6%削減 130,879
	kg-CO2	85,211	80,098	80,098	80,098
	kg-CO2(※)	48,453	45,546	45,546	45,546
化石燃料消費量(ガソリン)	L	基準比 14,929	3%削減 14,481	10%削減 13,436	10%削減 13,436
	kg-CO2	34,659	33,620	31,193	31,193
LPG使用量	m <sup>3</sup>	基準比 283	6%削減 266	28%削減 204	28%削減 204
	kg-CO2	1,756	1,653	1,265	1,265
廃棄物	kg	基準比 1,840	6%削減 1,730	18%削減 1,509	18%削減 1,509
総排水量	m <sup>3</sup>	基準比 1,218	2%削減 1,194	14%削減 1,048	14%削減 1,048
グリーン購入	品目数/年間	2012年度から 目標設定	5品目	5品目	5品目
化学物質の適正管理		—	分析内容毎に化学物質の使用量は規格で定められており、目標設定せず適正管理に努めます。		
本業におけるIT活動 照明のLED化、社有車 (ハイブリッド)購入、 地域の環境活動啓発等		件数/年	2013年度から 目標設定	3	3

備考：(※)内の購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力(H19年度)の値  
0.348 (kg-CO2/kWh) を使用しています。

備考：購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力(H24年度)の値0.612 (kg-CO2/kWh)  
を使用しています。

備考：グリーン購入は年間の新規代替購入品目数を目標とします。

備考：LPGは 1m<sup>3</sup>=2.07kgとして計算しています。



## 6. 主な環境活動計画の実施内容

【2012年度～2014年度】

二酸化炭素排出量

※年度は8月から7月とします。

取組目標	責任者	達成手段	
電気使用量	川路	1	不用時の照明消灯
		2	未使用時のパソコン電源、照明のOFF
		3	月別電気使用量の確認
		4	室内温度は、夏期26～28℃・冬期21℃以下に設定
		5	照明及び電気機器類の代替え購入は省エネタイプを優先し購入する。
化石燃料消費量（ガソリン）	豊田	1	社用車の効率的な運転の推進
		2	Eコドライブの励行
		3	定期的な車両整備の励行
		4	走行距離と供給燃料量の記録（1Lあたりの走行距離延長）
LPG使用量	片峯	1	使用期間の設定（6～9月のスイッチを切る 但し、対象は2Fのみ）
		2	1F給湯室は、6～9月は極力使用を避ける

廃棄物

取組目標		活動項目	
分別によるリサイクルの推進 可燃ごみの排出量削減	片峯	1	紙使用量の削減
		2	社内の購読済み書籍・新聞等は資源ごみとし、再資源化率の向上を図る
		3	ごみ分別の徹底（8種類：シュレッダー・段ボール・缶・瓶・ペット・プラ・紙ごみ・2F）
		4	排出量の月別管理
		5	社内まわりの整理・確認

総排水量

取組目標		活動項目	
節水活動	片峯	1	水道蛇口の調整、必要以上の使用を避ける 流しっぱなしにしない
		2	蛇口付近に節水ステッカーを貼る等活動の推進
		3	トイレの使用に際して、適当な水量を選択する

グリーン購入

取組目標		活動項目	
グリーン購入の推進	川路	1	Eマーク認定商品・グリーン購入法適合商品等の公的マークが記された商品を購入する
		2	カタログ、HP等による情報収集、調査
		3	省エネ機器、排ガス対策型車両への入れ替え

化学物質使用時の適正管理

取組目標		活動項目	
化学物質使用時の適正管理	片峯	1	使用時はMSDSを入手する。
		2	年間使用量の管理
		3	使用時、保管時、処分時の適正な管理

本業におけるE活動

取組目標		活動項目	
自社設備の省エネ改善 顧客へのE提案活動等	川路	1	社有車のハイブリッド型への入れ替え
		2	照明器具のLED化
		3	顧客への積極的な教育、啓発（環境教育等）

## 7. 環境目標の実績

実績 2013年度（H24年8月～平成25年7月）

目標に対する実績は下記の通りです。

○ 達成率95%以上、△ 85%以上～95%未満、× 85%未満

環境目標と実績	単位	(基準年)	2013年度		達成率	評価
			目標	実績	%	
二酸化炭素排出量（参考）	kg - CO2	84,868	78,055	76,009	102.7%	○
購入電力	kWh	139,233	130,879	123,816	105.7%	○
	(kg-CO2)	(48453)	(45546)	(43088)		
化石燃料消費量（ガソリン）	ℓ	14,929	13,436	13,765	97.6%	○
	(kg-CO2)	(34659)	(31193)	(31958)		
LPG使用量	m <sup>3</sup>	283	204	155	131.6%	○
	(kg-CO2)	(1756)	(1265)	(963)		
廃棄物総量	kg	1,840	1,509	1,285	117.4%	○
総排水量	m <sup>3</sup>	1,218	1,048	1,097	95.5%	○
グリーン購入	品目数/年間	5	5	4	80.0%	×
化学物質の適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	—	○
本業におけるIT活動	件/年間	2013年度 から目標設定	3	3	100.0%	○

備考： 購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力（H19年度）の値0.348kg/kWhを使用しています。

備考： グリーン購入は年間の新規代替え購入品目数を目標とします。

## 8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 1) 1年間の取組み結果について

二酸化炭素排出量は、2.6%の削減となりました。

購入電力・LPG使用量・廃棄物排出量の項目は目標を達成しました。化石燃料油消費量、給排水量もほぼ達成できましたが、グリーン購入は、未達成でした。

しかし、「意識付け」が浸透した結果、取組に前向きになり、削減効果が上がったことは、今後につながるものと感じています。目標達成できなかった項目は、業務の状況により変動が出やすい項目ですので、継続し達成に向けて努力します。また過去の実績と比較して削減効果が十分に働いていることは確認できる結果だと確信しています。

### 2) 今回の取組み評価について

4年目の取組みとなり、削減効果が慢性化しつつありましたので、目標設定を削減実績に合わせました。その結果、すべての項目において、大きな削減効果は見出せませんでした。みなさんに、もうひと踏ん張りしてもらったように感じられます。

未達成の項目も発生していますが、業務上必ず変動が発生しますので、やむを得ない状況だと理解しています。CO<sub>2</sub>削減効果は、目標-8.1%に対して結果-10.4%

と目標より-2.3%削減効果を出せましたので満足のいく結果となりました。

今季もLED蛍光灯を積極的に導入してきましたが、今後も更に全社に拡大していく予定です。

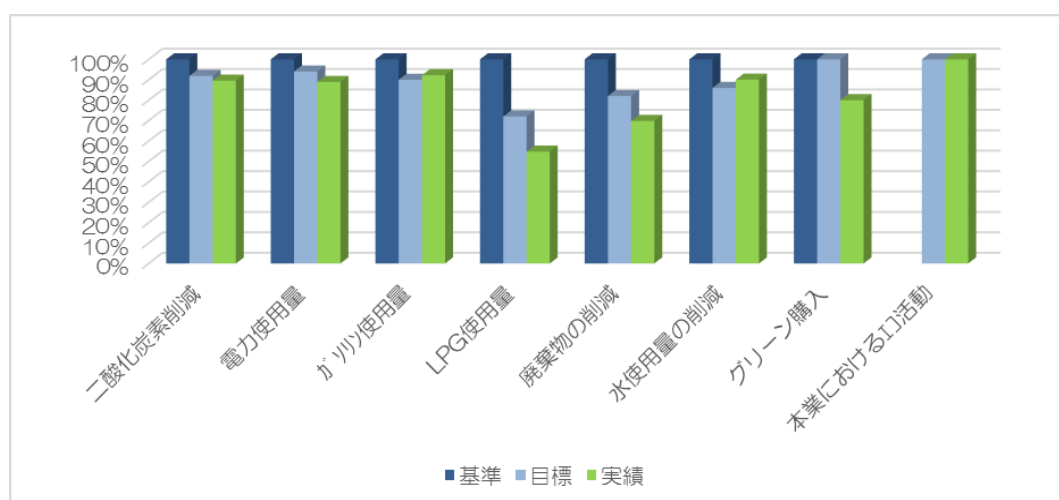
### 3) 今後の取組みについて

ひとりひとりが意識的に行動をするような方針を立て、今以上のCO<sub>2</sub>削減効果を目指します。設備投資に関しては、確実に費用対効果の見込めるものは、積極的に導入を提案していきます。次期の設備投資として9月に大型冷蔵庫の導入を計画しています。電力消費量の増加は免れません。しかし、10月にLED蛍光灯への切替えを計画しています。今回初の大型節電設備の導入となります。冷蔵庫を上回る削減効果を期待したいと思います。

#### 4) 環境目標の個別評価、次年度の取組内容

環境目標	取組結果とその評価、次年度の取組内容	
二酸化炭素排出量	達成	ガソリン削減目標の達成率が僅か100%を下回ったが、全体として満足のいく結果となった。次年度も省エネ活動を継続する。
購入電力量	達成	電気使用量を大幅に削減できた。次年度も全社で節電に取り組む。
化石燃料消費量 (ガソリン)	達成	ガソリン削減目標の達成率が僅か100%を下回ったが、全体として満足のいく結果となった。移動の多い遠隔地の仕事が増加したが日頃の省エネ運転活動が浸透し目標はほぼ達成となった。次年度も更にEドライブを強化し達成を目指す。
LPG使用量	達成	大幅に目標を達成した。次年度も継続した省エネ活動に取り組む。
廃棄物量	達成	廃棄物量削減は分別強化により減量化が出来、目標を達成できた。次年度も削減ならびに分別強化活動を継続する。
総排水量	達成	分析業務が増加したため洗浄に要する水の使用量が増加したことにより、達成率が僅か100%を下回ったが、全体として満足のいく結果となった。次年度節水活動を継続する。
グリーン購入	未達成	あと一步で達成できなかった。しかしグリーン購入は全社的に行き渡ったため、次年度は目標設定は行わず、購入時は随時適合商品への代替を行う。全体の購入品に占める割合はほぼ100%を維持していく。
化学物質の適正管理	達成	使用時の適正使用及び管理に努めた。次年度も継続する。
本業におけるE活動	達成	省エネ型社有車の買い替え、照明器具(LED)の入れ替え、並びに地域の環境ボランティア活動(地域の環境活動の啓発等)に参加し目標達成した。次年度も取組を拡大・強化していく。

#### 5) 比較グラフ(基準値、目標値、実績値)



## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規および条例について遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。  
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟・苦情等もありませんでした。  
今後においても、関係法規・条例を理解した上で法律遵守に努めます。

2013年10月1日

代表取締役社長 新宮一広

## 10. 代表者による全体評価及と見直しの結果

環境目標で、未達成であった「グリーン購入」は、2013年9月に全社屋の蛍光灯150本を全て高輝度蛍光灯型LEDに変更しました。現在、電気使用量の削減への寄与率をモニタリング中です。

また、社用車は、ハイブリット車へ切り替え、燃費基準早期達成車や低排出ガス認定車などの積極的購入を継続しています。

今後は、全て目標達成できるように、全社員の意識を更に高揚し、環境への取組み推進していきます。

2013年10月1日

株式会社環境衛生科学研究所

代表取締役社長 新宮一広

## 11. 当社のECO活動について

### 1) ECO活動報告

長崎県地球温暖化防止推進員として、ボランティア活動に参加しています  
(環境学習会)

場 所：長崎県歴史文化博物館 市立西山小学校

目 的：地球温暖化防止を低学年児から意識付けを行うことで、地球にやさしい生活を考えてもらうこと。

内 容：さまざまな環境学習ツールを用いて、遊ぶ感覚で学習してもらうこと

#### 活動状況



西山小学校 出前講座

歴文夏祭り寸劇

### 2) ECOな建築物

当社では、環境にやさしい建材を用いて会社を作りました。壁に間伐材や珪藻土等を利用し出来るだけ環境負荷の少ない材料を選んでいます。

